

令和6年度 名張中学校区 小中一貫教育推進研修会

○ 日時 8月21日(水) 9:00~12:00

○ 会場 名張市教育センター

○ 日程及び内容

(1) 全体会【会場：大研修室】 9:00~9:30

司会：名張中学校 教頭 庭田佳典

① 開会のあいさつ

名張中学校 校長 山村浩由

② 名張中学校区小中一貫教育の取組について

【部会ごとの報告】(各部会5分)

学力向上部会 梅が丘小 (松本 泰介)

生徒指導部会 名張中 (岡田 昌利)

人権・同和教育部会 比奈知小 (木下 利絵)

キャリア教育部会 名張小 (田ノ上 夕貴)

連携・協働部会 名張小 (桂口 章子)

(2) 部会別研修会 9:30~11:30

※下記の内容を参照

(3) 全体交流会【会場：大研修室】 11:35~12:00

担当者からの報告(総括と今後の取組等)(各部会5分程度)

○ 各部会の様子

〈学力向上部会〉

三重県教育委員会事務局学力向上推進プロジェクトチーム

指導主事 永井 秀治先生

演題 「主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善」

- ・「めあてと振り返り」・・・効果的なめあての提示（逆算設計）
- ・「対話的な学び」・・・「対話的な学び」の視点と授業例
- ・「深い学び」・・・深い学びのある授業例
- ・課題をふまえた授業改善・・・全国学調の問題から
- ・学習内容の理解・定着・・・全国学調の関連問題の活用



〈生徒指導部会〉

皇學館大學教育学部長 渡邊賢二先生 講演「普通学級における SST の必要性と実際」



- ・講演は 4 人グループワークあり。SST による学級づくりこそ、不登校・「荒れ」の未然防止
- ・講演後は、事前にロイロに入力した分析シートをもとに、各校担当者による状況交流発表
- ・その後、グル研生指になって、小学校の事例検討（4 人 G そのまま活用、シートは紙媒体）

〈人権・同和教育部会〉

名張市人権センター 川岡加寿子さん

講演「新しい時代の人権・同和教育の課題」

- ・「法を学ぶ、深く学ぶ、授業をつくる」ために必要なこと
→差別の現実には深く学ぶことが最大の原点
教職員づくりが大切
- ・講演が 60 分→95 分になったため、グループ討議の時間が不足した



〈キャリア教育部会〉



西田教文社 社長 西田賢一様より講演

- 「働く意義について、子どもたちに伝えたいこと」
- ・ 中学校の生徒にキャリア教育の一環として講演する時に、どのような想いで話をしているか、子どもたちに何を伝えたいかを話してもらった。
- ・ 講演後、質疑応答
- ・ 小グループにわかれて、講演を受けて感想の交流や、2 学期にどのようにキャリア教育に取り組んでいくかの交流

〈連携・協働部会〉

名張市教育委員会事務局 文化生涯学習室 雪岡正明さん

講演「名張市におけるコミュニティスクールを基盤とする小中一貫教育について」

- ・ 学校づくりは、目的に向かって一体となって進んで基礎を固めることが重要
- ・ 講師やゲストティーチャーの招致に関する手続きや費用について一覧表にまとめて、スムーズに行えるよう情報共有と各校の連携を強化
- ・ 市教委時代に携わった「名張版コミュニティスクール」の理念である「学校支援」について説明
- ・ つつじが丘小校長時代の取組について紹介

